

本県 念願の初優勝

下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号
〒320-8686
下野新聞社
電話 028-625-1111
郵便振替口座00350-0-407
©下野新聞社

下野新聞社ホームページ
<http://www.shimotsuke.co.jp/>

電子号外

下野新聞購読お申し込みは
フリーダイヤル
0120-810081

栃木のニュースを携帯でも!!



下野新聞 SOON 月額262円

下野新聞

検索

都道府県男子駅伝

1区八木沢、4区塩谷が区間賞

第16回全国都道府県対抗男子駅伝は23日、広島市平和記念公園前発着の7区間48キロで行われ、本県が2時間19分31秒で初優勝を飾った。本県のこれまでの最高順位は2006年大会の4位。登録選手の持ちタイムがトップの本県は、下馬評も高かったが、2区間で区間賞を獲得するなど全選手が実力を発揮した。

1区(7キロ)の八木沢元樹(那須拓陽高)が中継所前のスプリント勝負を制して区間賞を獲得。序盤で流れをつくった。

3区(8・5キロ)の的場亮太(順大)がトップと9秒差の7位と粘り、4区(5キロ)の塩谷桂大(那須拓陽高)も区間賞の快走。再びトップに立ち、2位に12秒差をつけた。

2位でたすきを受けた7区(13キロ)のアンカー宇賀地強(作新高一駒大)コニカミノルタ)は300メートル過ぎで早くもトップに躍り出た。宮城との並走が続いた後、4キロ付近で突き放した。

レース後、斉藤直人監督は「下馬評はトップだったが、簡単にはいかないと思っていた。出来すぎ。アンカーに宇賀地がいたので全員が最後まであきらまずに走った」と選手たちをたたえた。



初優勝を果たし、笑顔でゴールするアンカー宇賀地強＝広島・平和記念公園